

大和郡山市上下水道部窓口受付・滞納整理等包括委託事業

## 落札者決定基準

令和2年10月20日

大和郡山市

# 目 次

1	落札者決定基準の位置づけ	1
2	事業者選定方法	1
3	選定委員会	1
4	事業者選定等の流れ	2
5	資格審査	2
6	形式審査	3
7	審査及び落札者決定方法	3
8	総合評価	3

## 1 落札者決定基準の位置づけ

本落札者決定基準は、大和郡山市（以下「市」という。）が実施する「大和郡山市上下水道部窓口受付・滞納整理等包括委託事業」（以下「本事業」という。）を総合評価一般競争入札により実施する民間事業者の選定にあたり、応募者から提出された資格審査申請書類並びに入札書類を客観的に評価し、落札者を決定するための方法や評価項目、評価点の算出方法等の基準を定めることで、参加資格者（入札に参加する単独企業）が行う提案を、透明性・公平性を確保し評価することを目的としている。

## 2 事業者選定方法

本事業は、上水道事業の窓口業務を含むなど、お客様と接するサービス提供業務や、量水器の管理業務など技術的知識を要する業務を含む。したがって接客に関する経験・知識や、技術的な能力などの複合的なノウハウが必要となる。

民間事業者の選定に際しては、価格及び提案内容と要求水準との整合性等を総合的に評価し、落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

なお、入札手続の透明性・公平性を確保するために、入札書類の審査にあたっては参加者番号を用いて行うものとする。

## 3 選定委員会

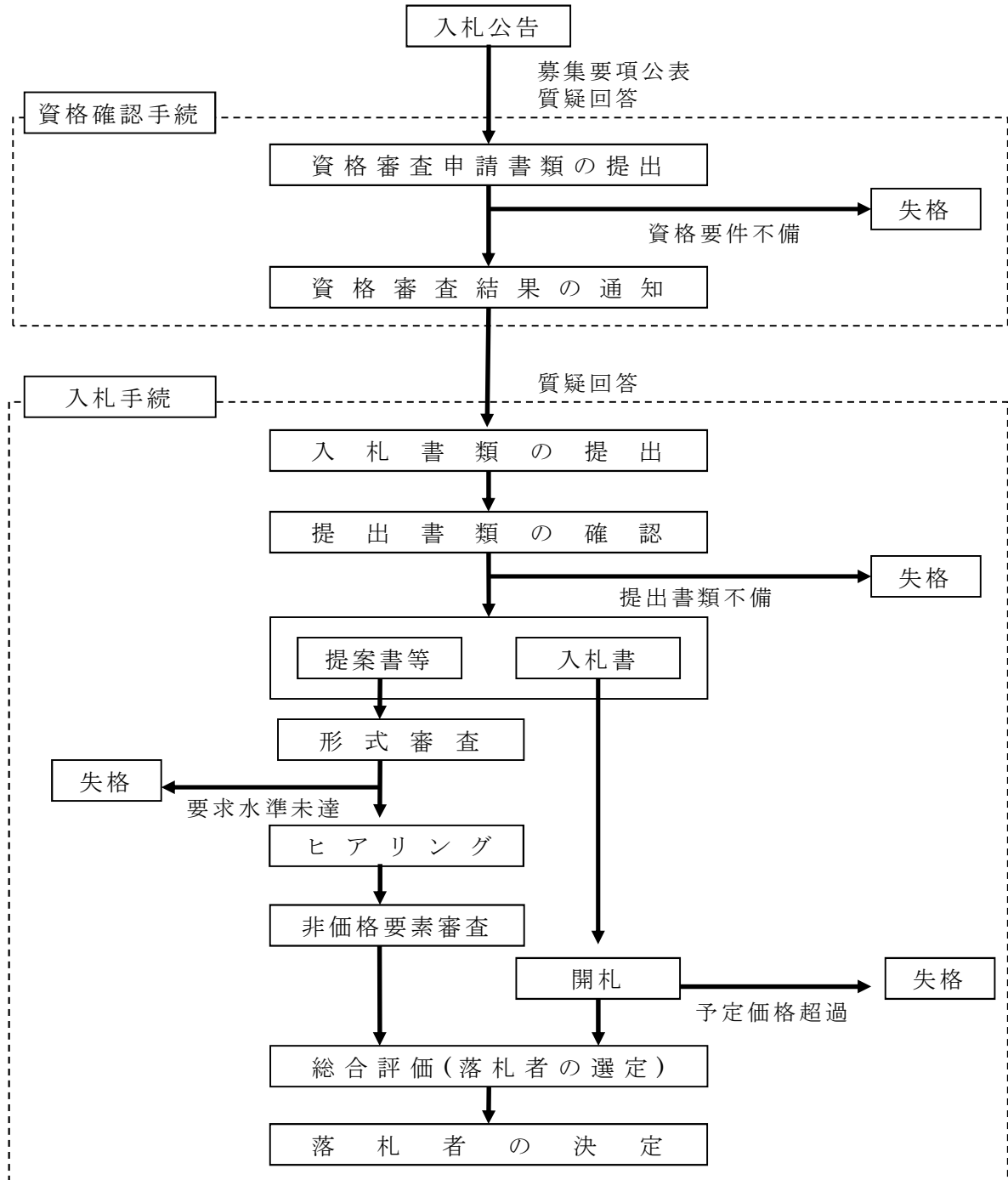
市は、落札者の選定に係る入札手続を実施にあたり、「事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置し、選定委員会の審査結果を受けて落札者を決定する。

なお、落札者決定までに、選定委員会の委員に対して接触等の働きかけを行った応募者は失格とする。

#### 4 事業者選定等の流れ

入札公告から落札者決定までの審査の流れを図表－1に示す。

図表－1 審査の流れ



#### 5 資格審査

入札参加者から提出された資格審査申請書類により、入札説明書に記載する参加資格を満たしていることを確認し、結果を応募者に書面にて通知する。

なお、参加資格を満たしていない場合は失格とする。

## 6 形式審査

資格審査により参加資格が認められた入札参加者により提出される入札書類について審査を行う。

なお、入札の無効及び失格については入札説明書を参照のこと。

## 7 審査及び落札者決定方法

### (1) 形式審査

提出された入札書類について、選定委員会において以下の内容について形式審査を行う。入札書類の内容が、募集要項等に規定された内容に達している場合は、形式審査を通過したものとし、未達の場合は失格となる。

- ア 書類の整備状況
- イ 各書類間における内容の整合性
- ウ 技術提案書の内容と要求水準に対する満足度
- エ 事業計画書におけるコストの妥当性
- オ 事業契約書案との整合性

### (2) ヒアリング

選定委員会は、(1)の形式審査を通過した応募者(以下「入札参加者」という。)に対し、各提案内容の確認等を目的として、提案書等に関するヒアリングを実施する。ヒアリングについては入札参加者の独自のノウハウに関する内容を含むことから、非公開で実施することを予定している。

なお、ヒアリングの開催要領の詳細は、入札参加者に別途通知する。

### (3) 非価格要素審査

入札参加者を対象に、選定委員会において8(3)の項目から非価格要素審査を行い、価格評価点を算出する。

### (4) 落札者の選定方法

- ア 選定委員会において、入札価格及び提案書等の審査結果に基づき、8の総合評価によって得られた評価値の高い者を落札者として選定する。
- イ 評価値の最も高い者が、2者以上あるときは、評価値の技術評価点の高い者を落札者と選定する。
- ウ ある入札参加者と契約を締結することが、公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあり、著しく不相当であると認められる場合は、その者以外で評価値の最も高い者を落札者として選定する。

## 8 総合評価

### (1) 評価の基本方針

評価値の算出方法は、お客様と接する事業として、品質を向上するうえで、技術力の水準を確保しつつ価格要素も含めた事業者選定を行う観点から、加算方

式を採用する。また、入札参加者の技術提案を評価し、技術評価点及び価格評価点を付加して、評価値の最も高い者を落札者とする。

(2) 総合評価の方法

入札参加者から提出された提案書等の内容について、技術評価点を70点、価格評価点の点数を30点として評価する。

$\begin{aligned} \text{評価値} &= \text{技術評価点} + \text{価格評価点} \\ \text{価格評価点} &= 30 \times (\text{最低価格} / \text{入札価格}) \end{aligned}$
--

ア 評価値は、小数点以下2位止め(3位を四捨五入)とするが、同位のものがある場合は、評価値に差が生じるまで小数点以下の位止めを増やすこととする。

イ 評価値の計算において、入札価格は千円単位とする。(1,000円未満の数値は小数点以下で扱う。)

ウ 提案書に関する得点化方法

(ア) 入札参加者について、各審査項目に対して、次に示す3段階評価による得点化方法で加算点を算出する。

評価	評価内容例	得点化方法
A評価	創意工夫が高く、非常に優れた提案が記載され、また、大きな効果が期待できる。	配点×100%
B評価	優れた提案が記載され、また、効果が期待できる。	配点×50%
C評価	一般的な提案であり、効果が期待できない	配点×0%

(イ) 技術提案書に関する各審査項目に対して各委員が個別に評価を行った得点の平均値を、技術評価点とする。

(3) 提案書等に対する配点

ア 提案書等に関する評価項目と配点は次のとおりとする。

【提案書等に対する審査項目と配点】

審査項目		配点		内 容											
				番号	枝番	評価項目									
事業実施能力	事業実施方針	4.0	2.0	1	①	□実施方針が本事業の目的と合致しているか									
			2.0		②	□個人情報の管理体制及び従業員への指導体制について									
	事業実施体制	34.0	30.0	3.0	2	①	□組織や人員配置が適正に計画され、また、突発的な欠員への対処方法が具体的かつ適切か								
				3.0		②	□従業員の教育、研修スケジュールが有効かつ具体的か								
				8.0		③	□応募企業の経営は安定しているか（財務指標の確認）								
				8.0		④	□応募者（応募企業＋協力会社）の類似事業履行実績は十分か								
				8.0		⑤	□予定事業責任者の経験は十分か								
	小計	34.0	34.0	34.0	-										
	技術評価点	技術提案書の内容	36.0	36.0	36.0	3	①	□要求水準未達とならないための方策、未達の場合の対応は適切か							
							包括委託事業の履行の確実性	3.0	3.0	3	①	□要求水準未達とならないための方策、未達の場合の対応は適切か			
上下水道事業の窓口受付業務											17.0	4	2.0	①	□口座振替制度の普及促進に関する提案について
													5.0	②	□収納率を向上させる効果的な提案があるか
													2.0	③	□お客さまサービスを向上させる効果的な提案があるか
													1.0	④	□お客さまへの感染症防止対策に関して効果的な提案はあるか
5.0							①	□問い合わせへの適切な対応、トラブル時の対応方法について							
2.0							②	□本業務において法的対応が必要となった場合の対応について							
上下水道料金の滞納整理業務 給水停止にかかる関連業務							8.0	4.0	2.0	5	①	□給水停止に至らないような取組について			
											2.0	②	□給水停止後における滞納者への対応方法について		
	2.0	③	□無断退去した滞納者への対応方法について												
地域貢献に関する提案	4.0	4.0	4.0	6	①	□市内企業及び市内人材の活用方針について									
入札金額内での技術提案	4.0	4.0	4.0	7	①	□提案内容の有効性、実現性など効果的な内容かどうか（例えば、コスト削減策（市の経費）、サービスレベルの向上、住民とのコミュニケーション、水道事業のPRに対する取り組みなど）									
小計	36.0	36.0	36.0	-											
計	70.0	70.0	70.0	-											